

あいの郷だより

2025年度
夏号

<CONTENTS>

2. 防災対策について、スライディングシート勉強会
3. リハビリ通信『元気ハツラツ!』第2号、季節の作品作り、施設の花壇
4. 施設の行事、山崎ツネ子様100歳のお祝い、編集後記

R7年7月10日発行



先日梅雨入りしたと思えばいきなり夏のような晴天で猛暑となり、体調管理が難しくなっています。皆さまにおかれましては、熱中症対策を万全に行って頂ければと思います。

さて、私は前回のあいの郷だよりで自己紹介させて頂いたように、羽生総合病院で内科医として13年間常勤勤務してきましたが、今年4月よりあいの郷の施設長として働くことになりました。

あいの郷は羽生総合病院の関連施設であるため、これまで何かと連携をとり、利用者の方の在宅復帰や在宅支援に積極的に取り組んでいることは存じておりましたが、いざ着任してみると、思っていたこととは違っても多くあり、今あれやこれやと奮闘しているところでもあります。

また、施設の特徴としてこれまで長くISO9001の認証を受けているなど、提供するサービスの質の向上に取り組んでいきます。引き続き業務改善活動を推進し、ご利用者にとって居心地の良い環境の提供を行うとともに職員にとっても働きやすい職場づくりに努めていきたいと思っております。

介護老人保健施設
施設長 馬場 俊暁

今後に向けて

施設の行事

4月

お花見

4月といえばお花見！お花見といえば桜ですね。今回の行事では、桜の花びらをイメージしたゲームを行いました。点数が書かれた大きなシートをチームごとに丸くなって囲み、花びらを模した球を利用者の皆さんに投げて頂き、球が落ちた場所の点数を競いました。球には風船が付いており、花びらのように着地地点が読めず、会場は盛り上がり！点数の計算が職員よりも早い方がたくさんいらっしゃいました。一生懸命計算したのは久しぶり！と笑顔で話されていました。

入所介護
大森 鈴音



5月

端午の節句

5月は子供の日にちなんだ行事を開催しました。紐に吊るした鯉のぼりを隣の方に送りゴールを目指し、鯉のぼりレースゲームを行いました。ゲームで使用した鯉のぼりは、利用者の方々が塗り絵をしたもので、個性のある色鮮やかな鯉のぼりが出来上がりました。皆さんで協力し合い、会場には「頑張れ！いけいけ！」と歓声があがりました。子供に戻ったように楽しまれており、温かい気持ちになりました。

入所介護
荻原 菜櫻



6月

暑気払い

6月に入り梅雨の時期となりました。じめじめとしたお天気も元気に乗り切ろうということで、行事をいたしました。利用者の皆様全員に、てるてる坊主がついた紐を持って頂き、音楽のリズムに合わせて足踏みをしなから、タイミングを合わせてひもを引っ張るゲームを行いました。ハラハラドキドキしながら皆笑顔が溢れていました。「もっとやりたい。あと一回！」等、再挑戦を求める声も多く上がり、賑やかな声に曇り空も晴れ渡るようでした。

入所介護
諏訪 静佳



編集後記

世間では雨の少ない梅雨と言われておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。屋内でも熱中症にかかる方は年々増加傾向にあり、水分をこまめにとること、空調を適切に使用することが大切です。ご面会にお越し頂く際にも、暑さ対策を十分された上でいらしてください。職員一同、爽やかな笑顔でお待ちしております！

広報誌担当一同

山崎ツネ子様

100歳を迎えられました。あいの郷に入所されている山崎ツネ子様が100歳を迎えられました。この度ご家族様から感謝のお手紙をいただきましたので、紹介させていただきます。

あいの郷の職員の皆様、入所されている皆様、いつもお世話になっております。お陰様で6月29日で100歳の誕生日を迎える事が出来ました。面会に行き、会う度に元気で血色が良いのに驚いています。あいの郷での日々が楽しく過ごせているのだと、家族としては何よりも安心、感謝しております。歳を重ね、お手を掛ける事も増えると思いますが、これからもしっかりお願い致します。皆様から頂けることも本当に有り難いことです。本当に有難う御座いました。

長女 中島 由子様

